



西脇ライオンズクラブ
国際協会335-D 地区3R-2Z

NISHIWAKI



Lions Club News

●会長テーマ
—奉仕のエネルギーを次の世代へ—

Vol.52 No.3 2013.9.24発行



最優秀賞

西脇小・中尾 公誠



楠丘小・藤原 凜乃

～第26回 国際平和ポスター展開催中～ 9月8日～29日 於：西脇病院1Fギャラリー

小学生による国際平和ポスター展

夏休みを利用して市内の小学生に国際平和ポスターを製作して頂きました。

9月7日に黒田庄ライオンズクラブのメンバーと一緒に西脇病院1Fロビーに展示しました。

200枚以上の作品を美術の先生のアドバイスをうけながら「会長賞」の選考を行いました。色、図案、発想、絵の雰囲気、人物の表情、何を表そうとしているのか等を見たり考えたりしながら選考しました。彼らは絵の中で小学生としては思えない表現の仕方、色使い、構図、アイデアを使いながら、「平和」又は「平和であることのありがたさ」を表していました。レベルの高さに展示作業をしていた両クラブのメンバーも驚いていました。

平和ポスター展を通して、日常生活の中では当たり前になっていてあまりそれについて考える事のない「平和」ということが、どんなものなのか、又、とてもありがたいものであるという事を考える機会を持ってもらえるとても嬉しく思います。

会長 朝井 聡

9月第1例会 会長あいさつ



先日は、L岩本と335-D地区主催の献血・聴覚障害福祉視力ファースト委員長研修会に参加しました。

その中で、献血に関しては2007年以来かなりの伸びがあり、特にライオンズクラブの献血の比重はかなり大きいとの事でした。しかし、絶対必要量にはまだまだ多くの献血協力者が必要とのことで、一層の努力が望まれます。

また、献眼に関しては全く無きに等しい数でした。335-D地区内のアイバンク登録者数は、1660名に対して、献眼者数は、H24年からH25年8月5日までなんと3名に留まっています。

自分なりに考えてみますと、献眼をする時は周りの誰かが亡くなられたときで、アイバンクの電話番号を探している時間がないか、全くその事を忘れていたのかどちらかであると思われます。そこでL有野に、「キャビネット」には登録者とその家族全員の携帯電話にアイバンクの電話番号を登録してもらう様、依頼する事を提案しました。アイバンクという文字は、一番始めのほうに表れるからです。どこかに電話しようと思えば、必ずアイバンクという文字は目に入ることになります。そうすれば、思い出したり、アイバンクに電話をするチャンスが増えると思います。ただしそのときにはちょっとした勇気が必要だと思います。しかしながら、光を失った人が再び光を取り戻したときには必ず、それに何倍もの奉仕をしていただけることは期待できると思います。

西脇LCアクティビティスローガン ——— 地域の人達と共に、手を取り合って奉仕活動 ———



桜丘小・荻野 芽

会長賞



比延小・藤井俊平



芳田小・下原咲彩



重春小・赤松慎平



展示風景：全223点

◆ <見学者ご感想・ご意見>

手と手をつなぐ
子供たちの絵を見
て、平和を願わずに
はいられない気持
ちになりました。良
い絵を見せていた
だき、ありがとうございました。
(一般・女性)

重い心で来院し
ましたが、明るい
元気な絵に勇気づ
けられました！
(77歳・女性)

62歳、女性
ばあばあ希望

今日はすばらしい絵をみ
せていただきました。こいい
絵の具を使っておられる子
供さんがいるってことを知り
ました。我が家の未来っ子
にもそういうことを願います。
ありがとう！平和ポスター！

ライオンズクラブの皆様、毎年このような企画をご提案いた
だいて、このような素晴らしい発表展示までお世話いただき、
ありがとうございます。小学校5年生なりの「平和」をテーマに
市内全域で夏休みのひと時を共有した体験、そして幸運にも、
このように入選作品の中に入れた子供たちは幸せです。「グロ
ーカル」に発想し、行動するという至言のとおり、広い視野（平
和、協調、友好etc）で身近に行い質を高めてくれる西脇っ子
であってほしいと切願しています。本当にありがとうございました。
(西脇市教育委員会 三崎 紀男)

優秀賞



双葉小・絹川蒼次郎



双葉小・西本陽登



楠丘小・藤原 文



比延小・小南輝音



西脇小・出口 華



楠丘小・横山夢乃



桜丘小・藤本奏人



桜丘小・藤原優奈



芳田小・内橋秀太



重春小・田村日乃乃



日野小・藤井千晴

国際平和ポスター展審査講評

西脇市立楠丘小学校教諭 山本 義尚

左：楠丘小教諭 山本義尚先生
右下：黒田庄LC会長 大山剛史

審査にあたって、今年のテ
ーマ「私たちの世界、私たち
の未来」に沿って、子どもた
ちがどんな未来を、世界を夢描
いているのか、そんな子ども
たちのメッセージを強く感じる
作品を選考しました。またポス
ターですので、目を引く表現や
色彩も審査の基準としました。

特に最優秀賞に選んだ中
尾公誠さんの作品からは、
「人間だけでなく動物たちも

地球の住民なんだよ」という強いメッセージを感じました。平和を考えると、
つい人間だけのことを考えがちです。この作品には、全ての生きものが安心
して生活できる地球が、生き生きと描かれています。子どもらしい純粋な視
点のすばらしさに気づかされる作品でした。

応募されたどの作品にも、子どもたちの平和を願う思いが、子どもらしく表
現できている、1枚1枚の作品から、子どもたちの声を聞きながら、楽しく鑑賞
させてもらいました。ありがとうございました。